

今年輝いた人（敬称は省略させていただいております）

令和7年度 岡山県農林漁業功労者表彰
岡山県農林水産部長表彰（農産部門）
中川 浩志（豊永）

令和7年度 岡山県うまいくだもの共進会
【ピオーネの部】
◎最優秀賞
農林水産大臣賞 長濱 健一（草間）
◎奨励賞
うまいくだものづくり推進本部長賞
近藤 聡（豊永）
藤野 幸一（草間）
田中 邦男（豊永）

【オーロラブラックの部】
◎奨励賞
うまいくだものづくり推進本部長賞
植田 正二（豊永）
山田 憲次（草間）

令和7年度 岡山県花き共進会
◎最優秀賞
農林水産大臣賞（特別賞）
りんどう「しなの2号」 黒笹 明（哲西）
岡山県知事賞
りんどう「しなの2号」 奥山 亮（哲多）

◎優秀賞
岡山県農業協同組合中央会会長賞
りんどう「パステルベル2号」 田邊実千代（神郷）
全国農業協同組合連合会 岡山県本部
運営委員会会長賞
りんどう「ホワイトハイジ1号」 仲田 登（菅生）

◎奨励賞
岡山県花き生産協会会長賞
りんどう「ホワイトハイジ1号」 岡崎 裕生（哲西）
りんどう「岡山RND5号」 佐藤 亮（新見）
りんどう「しなの2号」 安田 毅（哲西）

第80回 岡山県畜産共進会
県知事賞（若雌区の2 優等主席）
「第535ながひさ」
晴れの国岡山農業協同組合長久牧場（神郷）

県知事賞（経産牛の区 優等主席）
「みえきよたま」 西村 佳明（哲多）

令和7年度 新見市ピオーネ共励会
◎最優秀賞
岡山県知事賞 田中 邦男（豊永）

◎優秀賞
新見市長賞 杉 才子（豊永）
備中県民局農林水産事業部長賞 長濱 健一（草間）
岡山県農業協同組合中央会会長賞 山田 憲次（草間）
全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞 芦澤 芳夫（豊永）
岡山県農業共済組合長賞 植田 正二（豊永）

令和7年度 新見市桃共励会
◎最優秀賞
新見市長賞 清本 敬二（草間）

◎優秀賞
備中県民局長賞 堀江 利明（草間）
備中県民局農林水産事業部長賞 吉川 宏明（草間）
岡山県農業協同組合中央会会長賞 林 則幸（草間）
全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞 平川 正史（草間）

令和7年度 新見市花き共進会
◎最優秀賞
新見市長賞
りんどう「ホワイトベルセト」 岡崎 裕生（哲西）

◎優秀賞
備中県民局長賞
りんどう「しなの早生」 竹本 元則（大佐）
備中県民局長農林水産事業部長賞
りんどう「しなの2号」 三好 充（哲西）
岡山県農業協同組合中央会会長賞
トルコギキョウ「ダブルスノー」 上田 博圀（千屋）
全国農業協同組合連合会 岡山県本部長賞
りんどう「ホワイトベルセト」 佐藤 亮（新見）
りんどう「おかやま夢りんどう早生2号」 安田 毅（哲西）

第18回 新見市畜産共進会
備中県民局長賞（グランドチャンピオン）
「みそら」 新見高等学校（新見）

岡山県備中県民局農林水産事業部
新見農業普及指導センター
〒718-0003 岡山県新見市高尾2400
担い手・農産班 TEL (0867) 72-9177
園芸班 TEL (0867) 72-9179
FAX (0867) 72-0495
E-mail: niimi-fukyu@pref.okayama.lg.jp



©岡山県「ももっち・うらっち」



あてつまんさく
新見の農業情報
普及だより2025年

備中県民局農林水産事業部
新見農業普及指導センター

1 担い手の確保・育成

新規就農者の確保に向けた取り組み

新見市では、ぶどう、トマト、りんどうの3品目で新規就農者の受入体制を整え、県内外の就農相談会で就農希望者の相談対応や、年2回の地域就農オリエンテーションで産地見学や先輩農業者との意見交換を実施しています。今年度は1名が9～10月に草間地区及び豊永地区で、ぶどうの体験研修を約1か月実施しました。
また、ももを加えた4品目で就農準備講座の受講生を募集し、受講申し込みがあったピオーネ、りんどう、ももの3品目で4～6回の講座を開催し、新規栽培者の栽培技術の習得を図っています。



J A晴れの国岡山新見花卉部会では、平成27年度から、りんどう専業経営を目指す実務研修生の受け入れに取り組んでいます。近年では令和4年度、5年度の研修生3名が、順調に研修期間を終えて就農し、りんどう栽培を始めています。
りんどうは定植後の1年間は株養成を行い、2年目から切り花を出荷します。令和6年度の新規就農者は、今年度初出荷を終え、ほっとした表情を見せていました。
新見花卉部会では、令和5年度に新選花場を整備するなど、出荷量の増加に対応できる体制を整えています。



新見オリジナルりんどうの咲き具合を確かめる
新規就農者

2 技術情報

「にじのきらめき」現地適応性の検討

多収で良食味かつ倒伏しにくい品種として、「にじのきらめき」の導入が進んでいますが、新見市での栽培適応性や肥培管理が明確になっていません。

そこで、普及センターでは、哲西地区と千屋地区で現地適応性の検討と肥料試験を行いました。

倒伏はなく、新見市の基準反収より収量が多かった結果から、適応性があると考えられます。

しかし、遅れ穂の発生や、熟期のばらつきが見られ、特に千屋地区でその傾向が強いことも分かりました。これらは品種特性の1つと考えられますが、千屋地区では5月上旬に移植することで、遅れ穂の多くを収穫でき、収穫ロスを減らすことができると考えられます。

肥料試験では、生育後半まで肥効が続く肥料を用いることで、穂数が増え、収量が増加しました。

試験ほ場では、6月下旬からイネ縞葉枯病が発生しました。「にじのきらめき」はイネ縞葉枯病の抵抗性を持っていますが、苗箱処理剤等によりイネ縞葉枯病を媒介するヒメトビウンカを防除する必要があります。また、今年も高温傾向であったため、肥効が早期に切れたことで、ごま葉枯病が発生しました。

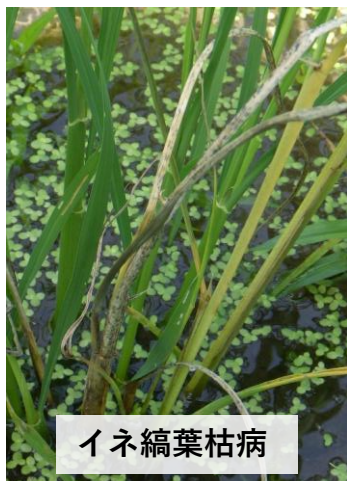
今後も引き続き、「にじのきらめき」の普及性を検討します。



遅れ穂の発生



止葉に隠れている穂



イネ縞葉枯病



ごま葉枯病

3 普及活動の紹介

鳥獣害対策研修会

イノシシの生態や対策を正しく理解し、地域ぐるみで対策に取り組む手法を学ぶために、(株)野生鳥獣対策連携センターの阿部豪氏を講師に招いて研修会を開催しました。(農)ファームやだたに鯉が窪の組合員、周辺の集落営農組織代表者、関係機関の鳥獣害対策担当者が参加しました。

第1回(7月)は、講師による講習の後、昨年イノシシ被害が発生したほ場周辺を巡回し集落点検を行い、指摘された場所を地図に落とし込み「集落点検マップ」を作成しました。

第2回(11月)は、7月に作成した集落点検マップの効果を確認した後、被害発生時の痕跡確認方法や効果的な対策の検討手法を学ぶため、講習とワークショップを行いました。

研修会参加者に対して行ったアンケートでは、参加者全員が「勉強になった」と回答し、

「(集落点検マップは)航空図で見ることでわかりやすくなり、地域で情報を共有できてよかった」「話を聞くだけでなく、現地に出向き自分で考えられるのがよかった」など、満足度が高い感想が多く聞かれました。



専門家による対策講習



集落点検



完成した集落点検マップ



ワークショップ

アブサップ液剤による「ピオーネ」の着色向上技術

令和5～6年にかけて、「アブサップ液剤」を使用し、「ピオーネ」の着色等果実品質に及ぼす効果や影響を調査しました。今年度は、蓄圧式噴霧器から複数の噴口があるリング型のノズル(図1)を取り付けた動力型噴霧器に変更しました。リング型ノズルを使用すれば、リングに果房を通すことで散布ができ、省力化になります。



図1 リング型ノズル

これまで、散布時間は10a当たり5時間程度を要していましたが、噴霧器を変更したことで、2時間程度まで短縮できることが明らかとなりました。また、カラーチャート示度で果皮色に約0.5の着色向上効果がありました(図2、表)。

「アブサップ液剤」は、薬液が付着した部分にしか効果がないため、散布ムラがないように注意が必要です。

表 S-A-B-A処理が「ピオーネ」の果実品質に及ぼす影響

R7	果粒重(g)	果皮色(ピオーネ用CC)	糖度(°Brix)	食味(1:不良～5:良)	果肉の硬さ(1:軟～5:硬)	脱粒難度(1:易～5:難)	果粉溶脱(0:無～4:多)
処理区	19.5	6.5	17.9	3.7	4.0	4.2	2.2
無処理区	21.3	6.0	16.4	3.8	4.0	5.0	1.4



図2 収穫果実(9月15日)

デジタルマーケティングでりんどう産地を活性化!



PRパンフレット

普及センターは、県デジタルマーケティング事業を活用し、JA晴れの国岡山新見花卉部会のPR活動を支援しました。

今年度から部会でInstagramを開設し、『新見リンドウofficial』では、日々のりんどうの生育状況や栽培している自然条件、部会の活動など産地情報を写真と動画(ドローン空撮等)で紹介しています。

『新見リンドウ品種カタログ』では、部会で出荷されているりんどうの品種を紹介しています。

また、市場関係者や仲卸、小売店に向けたPRパンフレットを作成し、卸売市場を通して小売店に配布しました。

今後は、PR動画や新見オリジナルりんどうを紹介するパンフレットも作成する予定です。

皆さんも、ぜひ「いいね!♡」「フォロー」をお願いします!



産地紹介



品種紹介



新見オリジナルりんどう